

ワークシート②「フォトストーリーを作って紹介しよう」～読み手に考えさせる文章を書く～
 二年 組 号

- ハインのフォトストーリーについて文章の書き方とその効果を考えよう。
- P 79 上の「スピナーの少女、サディー」の写真と、この写真に付けられた文章 P 78 L 11 ～ 14 を読んで文章の書き方とその効果をあとの表に書いてみましょう。

P 79 上の「スピナーの少女、サディー」
 の写真を貼る

P 78 上 L 11～L 14 にあるハインの文章を書き写してみよう。



	文章の内容や書き方(↓なにをどう書くか)	表現の効果
例	写真に写っている少女の身長体重、仕事をする時間、困難な作業内容を書いている。 ↓写真にない情報を付け加えている。	被写体の幼さを実感させる。 仕事の過酷さが分かる。
1	機械の横の長い通路の前に立っているといった見て分かることは書いていない。 ↓写真にある情報は書かない。	写真を見て分かることは書かずに、写真の伝える事実が、直接読み手に働きかける。
2	「です」「ます」で終わっている。 ↓敬体で終わっている。	読み手に優しく訴えかける感じにする。 読み手に抵抗なく文章を読ませる。
3	ハインがどう思う、どう考えるといったことは一切書いていない。 ↓書き手の思いや考えは書かない。	読み手の感じることを大切にしている。 筆者の考えを押し付けない。 事実を伝えるのみで、判断は任せている。
4	身長百三十センチメートル、体重二十キログラムがどれくらいか説明していない。 ↓事実だけを伝えて余分な説明はしない。	読み手が自分で、小学生低学年くらいかと思像をめぐらせることができる。読み手に考えさせることができる。
5	「紡錘の作業」とだけ書いて具体的にどういう作業が必要か説明していない。 ↓専門用語を用いている。	読み手が知らないことを知りたいと思わせることができる。

※A3につなげてお使いください。

●ハインの写真に文章を書いて、ハインの文章の書き方について確かめよう。
○P76下の「マニユエル、5歳 ミシシッピ州の缶詰工場にて」の写真と、P76上に書かれている写真についての説明の文章を読んで、この写真にハインが付けた文章を想像して書いてみましょう。

P76下の「マニユエル、5歳 ミシシッピ州の缶詰工場にて」 の写真を貼る	
	カキ殻の山の前でエビを入れ るバケツを持っているこの少 年は、四歳のときから、早朝 三時に鳴る笛の音で目を覚ま し、一日中、冷凍したエビを むいています。

📄ワークシート③で、フォトストーリーを比べ読みして文章の書き方について考えよう。

●読み手に考えさせる文章を書くためには、どのような文章の書き方をすればよいのか考
え、学級で話し合って3つにまとめよう。

読み手に考えさせる文章を書くためのポイント

	文章の内容や書き方	表現の効果
1	写真だけではわからない、必要な情報を書く。	写真が映し出す状況について具体的に理解することができる。
2	自分の意見を直接書かないで、読み手に考えさせるように問いかけをする。	問いかけたり、事実を直接突きつけたりして読み手に考えさせる効果がある。
3	印象に残る表現技法(比喻や反復など)を使う。	読み手に強く印象づける。